

PRESS RELEASE

平成 28 年 11 月 7 日

黒潮大蛇行変遷史の解明を目指した 学術研究船白鳳丸 KH-16-6 次航海を高知港から開始 ～黒潮と日本の気候変動との関連を探究～

本学海洋コア総合研究センター 池原実教授が主席研究員を務める研究チームが、2016 年 11 月 11 日から 11 月 28 日の 18 日間、北西太平洋において学術研究船「白鳳丸」による KH-16-6 次航海を実施します。黒潮は周期的に大蛇行と非大蛇行（直進）を繰り返すユニークな海流ですが、黒潮大蛇行が発生すると、日本列島南方の水温・塩分分布が大きく変わるために漁業や水産業に大きな影響をもたらされます。また、黒潮の流軸（強流帯）が移動するために船舶の運航にも影響が出てきます。さらに、黒潮大蛇行/非大蛇行の周期的な変動は、東アジアの気候変動とも密接に関連していると言われています。

今回の調査航海において、北西太平洋の深海底から堆積物（海洋コア）を採取し、最終氷期から現代に至る黒潮大蛇行の変遷史を復元し、日本列島の気候変動との関連を探究する国際共同研究を開始します。国内の大学・研究機関から総勢 26 名の研究者、大学院生、観測技術員などが白鳳丸に乗船します。また、中国と韓国からも研究者が乗船します。

詳細については、別紙をご参照ください。

■航海スケジュール

11 月 8 日（火）10 時	白鳳丸 高知港に入港
11 月 9 日-10 日	高知港停泊（観測準備）
11 月 11 日（金）10 時	高知港出港（航海開始）
11 月 28 日（月）	東京港入港（航海終了）

※船内取材対応：11 月 9 日（水）午前もしくは 10 日（木）に白鳳丸の船上での取材対応が可能です。

=====

【問い合わせ先】

高知大学海洋コア総合研究センター いけはらみのる 池原 実
電話：088-864-6719（研究室）
携帯電話：090-2828-5529
E-Mail：ikehara@kochi-u.ac.jp

【不在時の対応】

高知大学研究国際部研究推進課 海洋コア室
電話：088-864-6712

=====